学校番号	３２４

平成３１年度指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語会話	2	3	教科書「SELECT English Conversation」 ワークブック「SELECT English Conversation WORKBOOK」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語会話は、英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、身近な話題について会話する総力を養うことが目標です。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：・「コミュニケーション英語Ⅱ」（２単位）・「表現演習」（２単位）

・「英語会話」（２単位）・「英語表現Ⅰ」（２単位）・「ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・前もって準備した上で、絵、写真等視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる、など。	・英語会話（発表等） ・表現演習（発表・スピーチ発表等）	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活、趣味、将来の夢等）について複数の文を書くことができる、など。	・表現演習（英作文・スピーチ発表原稿等）	・決まった表現でゆっくり話された天候、時間、物の値段など、日常的なことがらについて、内容を理解することができる、など	・CE 英語Ⅱ（Oral Introduction・英語検定のリスニング） ・英語会話（ペアワーク等）	・50 語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したのち、適切に音読することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や説明文を理解することができる、など	・CE 英語Ⅱ（教科書の要点理解、音読） ・Reading Ⅱ（教科書本文の要点理解等）

3　学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (12 時間)	Lesson 1 I like meeting new people.	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ 挨拶・自己紹介など、自分自身のことについて話したり聞いたりする。 ・ ペアワークにおいて、互いに協力しながら積極的に会話を続けることができる。	・ ペアワークでの自己紹介の中で、お互いが相手の名前の意味、呼び方を理解し、名前を呼び合えるようにする。 ・他者紹介で相手のことも伝える。	・ ペアワークにおいて、互いに協力しながら積極的に会話を続けているか。 ・ 発音、アクセントともに気を付けているか。	・ ペアでの言語活動を観察する。 ・ 授業時間を利用してインタビューテストを実施する(テスト時は教員2人を配置する)。
		「外国語表現の能力」			
		・ 教科書だけの表現だけではなく、実際に現代の英語表現について慣れ親しむ。	・ 挨拶・自己紹介において使う表現をいくつか紹介し、自分の作文にも組み込む。	・ 授業時に触れた新出表現を積極的に使用しようとしたか。	・ 授業時間を利用してインタビューテストを実施する(テスト時は教員2人を配置する)。
		「外国語理解の能力」			
		・ 不定詞と動名詞の違いを理解し、他の授業でも応用することができる。	・ 準動詞の不定詞(名詞用法)と動名詞の違いを学ぶ。	・ 会話練習や発表の際に、適切に使い分けが出来ているか。	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ 英語の疑問文の語順の違いについて慣れ親しむ。	・ タスクシートを使用し、直接疑問文と間接疑問文を作文する。	・ 積極的に、且つ丁寧にタスクシートに取り組めているか。	・ タスクシートを回収する。
Lesson 2 (12 時間)	Lesson 2 I usually wake up at 7:00 in the morning.	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ 日課について質問したり答えたりする方法を学び、実際に使えるように暗記させるのではなく慣れ親しむ。	・ ペアワーク、グループワークを行い、会話を数多くこなす。	・ 積極的にコミュニケーションを図ろうとしているか。	・ ペアワークやグループワーク時の活動内容を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・ Always / Usually / Often / Sometimes / Hardly ever / Never などの副詞を場面によって使い分けることができる。	・ 場面を想定して、自作の英文に学習目標の副詞を加えて作文するワークシートを行う。	・ 積極的に、且つ丁寧にタスクシートに取り組めているか。	・ タスクシートを回収する。
		「外国語理解の能力」			
		・ Always / Usually / Often / Sometimes / Hardly ever / Never の副詞の違いを理解し、作文時に適切な場所に組み込む訓練を行う。	・ 副詞理解に特化したワークシートを行う。	・ 積極的に、且つ丁寧にタスクシートに取り組めているか。	・ タスクシートを回収する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ 異文化での習慣を紹介して、自文化を見直す機会を与える。	・ 実際の海外生活での経験談や、NET の日課などを紹介する。	(設定しない)	(設定しない)

Lesson 3 (12 時間)	Lesson 3 We're going to take a trip.	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・未来を表す表現を会話の中に積極的に組み込ませ、会話に厚みを増すことができる。	・未来表現 be going to を復習し、ペアワーク、グループ活動で会話練習を数多くこなす。	・積極的にコミュニケーションを図ろうとしているか。 ・ペアパートナー、またはグループ内で協力しようとしているか。	・ペアワークやグループワーク時の活動内容を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・助動詞 be going to を含んだ予定を表現する文を自分で作ることができる。	・簡単な復習用のタスクワークを行う。	・復習用のタスクワークを行い、文法知識の定着度を確認する。	・タスクシートを回収する。
		「外国語理解の能力」			
		・未来を表現する助動詞 will との違いについても学び、使い分けることができる。	・簡単な復習用のタスクワークを行う。 ・会話練習時に be going to と will を使うパターン練習を織り交ぜる。	・積極的にコミュニケーションを図ろうとしているか。 ・ペアパートナー、またはグループ内で協力しようとしているか。	・ペアワークやグループワーク時の活動内容を観察する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・世界的に有名な場所や地名についても学び、地理学などにも興味関心を持つことができる。	・世界的に有名な場所や地名にリンクした写真などを見せ、グループなどで対抗するクイズなどを行う。	・積極的にコミュニケーションを図ろうとしているか。 ・ペアパートナー、またはグループ内で協力しようとしているか。	・ペアワークやグループワーク時の活動内容を観察する。
Lesson 4 (12 時間)	Lesson 4 How about going to a party?	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・招待、勧誘の表現だけでなく、その応対後の相槌やリアクションもとることができる。	・会話におけるの間や相槌の取り方を紹介し、実際にペアワークやグループワークで練習を重ねる。	・積極的にコミュニケーションを図ろうとしているか。 ・ペアパートナー、またはグループ内で協力しようとしているか。	・ペアワークやグループワーク時の活動内容を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・自分自身の事を発話するのではなく、相手に招待や勧誘する方法、及びその応対表現を使いこなす事ができる。	・簡単に発話内容をタスクシートに作文し、実際にペアワークやグループワークで練習を重ねる。	・場面に応じて適したフレーズを選び、使えるようにする。	・ペアワークやグループワーク時の活動内容を観察する。 ・タスクシートも回収する。
		「外国語理解の能力」			
		・外国語特有の招待、勧誘の表現方法に慣れ親しみ、実際に使うことができる。	・JET と NET で手本を見せ、模倣という形で実際にペアワークやグループワークで練習を重ねる。	・積極的に練習に取り組もうとしているか。 ・ペアパートナー、またはグループ内で協力しようとしているか。	・ペアワークやグループワーク時の活動内容を観察する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・趣味などのエンターテイメントの英語表現を紹介し、日本語の中に英語が深く浸透していることに気付くことができる。	・趣味にリンクする写真やイラストを提示し、それについてクイズなどのレクリエーションでボキャブラリー活動を行う。	・積極的に練習に取り組もうとしているか。 ・ペアパートナー、またはグループ内で協力しようとしているか。	・ペアワークやグループワーク時の活動内容を観察する。

Lesson 5 （12 時間）	Lesson 5 You should take off your shoes.	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・既習項目を踏まえた上で、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。	・実際に「～しなければならない」状況下を設定し、ペアワークで練習を重ねる。 ・教員も参加する。	・積極的に練習に取り組もうとしているか。 ・ペアパートナーと協力しようとしているか。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・「～するべき、～したほうが良い、～しなければならない」などの表現を適切に使いこなす事ができる。	・タスクシートを用いて、使用する助動詞の違いを理解する。	・積極的に、且つ丁寧にタスクシートに取り組めているか。	・タスクシートを回収する。
		「外国語理解の能力」			
		・既習項目を織り交ぜながら、助動詞を加えた複雑な文を発話することができる。	・補助付きのタスクシートで既習項目を復習し、実際の場面の会話を作文する。	・積極的に、且つ丁寧にタスクシートに取り組めているか。 ・ペアパートナーと協力しようとしているか。	・ペアワークやグループワーク時の活動内容を観察する。 ・タスクシートも回収する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・異文化圏での「～しなければならない」ことを紹介し、実際に生活する上でのルールやマナー、エチケットなどを身につける。	・日本における慣習と海外における慣習の違いをブレインストーミングさせ、グループで意見を交換する。	・積極的に意見を出そうとしているか。 ・グループ内で協力しようとしているか。	・ペアワークやグループワーク時の活動内容を観察する。 ・タスクシートも回収する。